



たかはししゅうへい
高橋修平 議員

Q 小・中学校における今後の感染症対策について

A これまでどおり国の通知に準じて対応します



録画映像



高橋議員
コロナ禍では、常態化したマスク着用、度重なる消毒、ソーシャルディスタンスや黙食など、国が過度ともいえる感染症対策を講じたことにより学校行事や部活動、イベントなどが中止を余儀なくされ、期待や希望を胸に入学した子どもたちが、その中で送った学校生活は、どれほど不自由なものだったであろうかと思えます。

国が決めたルールに大きく行動を制限された子どもたちがいるという状況の中、親からマスクを着けていない友達と遊ばせてもらえない子どもや、ワクチン未接種の子どもが仲間外れにされるなど、メディアのネガティブな情報により、冷静な判断をできなくなっ

た人たちの憶測が交錯し、混乱と差別を生み出していたのだと思われまます。

以上を踏まえ、コロナ禍に行ってきた感染症対策が子どもたちに与えた影響や効果をどのように考えるのか。

教育長
基本的な感染対策を講じて継続したことにより、感染拡大防止には一定の効果があつたものと考えます。

一方で、休校などにより「人と関わる機会」が減ったことにより従来の学校生活を送ることができなくなるなどの影響があつたものと思えます。



高橋議員
今後また、パンデミックが起きた際には、小・中学校にコロナ禍と同様の感染症対策を推奨するのか。

教育長
これまでどおり国の通知に準じて対応します。

高橋議員
マスク、消毒、ソーシャルディスタンス、外出自粛等には、感染リスク低下の科学的根拠がなく、PCR検査が、感染と曝露を判別できないことや、新型コロナウイルスを検出する精度がないということは科学的な事実です。

このような事実確認は心の軸になると思います。

できるだけ多くの事実を集め、自分の最適解を出していくことへの学びや、考え方はみんな違って当然だということを子どもたちに伝えていくことが、同じ間違いを繰り返さないために大事だと思えます。

本来の意味での感染症対策は免疫力を上げることだと私は思っているので、食育とも深く関わりますし、国から通知される感染症対策と合わせて、こういうこ

とも伝えることが必要だと感じますが教育長の考えは。

教育長
国の情報、通知をしっかりと踏まえた上で対応していくことが大事であると考えます。





ほし
星 真希 議員



録画映像

Q 学校における働き方改革の推進について

A 働きがいのある職場と環境づくりを学校と一体になって進めていきます

星議員

町では、来年度から小中一貫教育がスタートし、今後教職員を取り巻く環境が変化することが想定されます。

小・中学校だけでなく、教職員・教育委員会双方が働き方改革推進の目的を共通認識し、連携が取れる体制でいることでより良い方向へ改善していけるのではないかと考えます。

令和5年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画の中に、「教師の※ウェルビーイングの確保の必要性」が新しく盛り込まれていることから、働き方改革とウェルビーイングが密接に関連すると考えられます。

令和6年度教育行政執行方針「学校における働き方改革の推進」がうたわれており、その目的に沿って、教職員・教育委員会が連携



して取り組まれているのか

教育長

北海道教育委員会や本町教育委員会では働き方改革の5つの柱を掲げ、教職員の働きやすい環境の実現に向けて取り組んでいます。

働き方アクションプランの評価としては、令和5年度の平均と比較すると、南幌町の小・中学校教職員の1か月の平均は「21・5時間」で、北海道平均「37・5時間」を下回っており時間外在校時間の結果からは、成果が出ていると判断しています。

しかし、働き方改革における目的は、限られた時間の中で、授業改善や児童生徒等に接する時間を十分に確保し教師が自らの授業を磨くとともに、効果的な教育活動を持続的に行うこと、また、改革によって生み出された時間を教師本来の業務である子どもたちのために使うこととし、働き方改革の実現のために、教職員と教育委員会が連携してさらなる改革に取り組んでいるところです。

今後も、働きやすい、働きがいのある職場が実感で

きるような環境づくりを学校と一体となって進めていきます。

星議員

①働き方改革アクションプランにある「意識の変容を促す取組」とは。

②改善しようとしていることが、子どもの学びにどうつながるのか。

教育長

①大学教授と連携し、教職員の生徒指導対応と危機管理に関する研修などを行い主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを目指しています。

②義務教育9年間の継続的指導について研修を行い、小・中学校の交流による学習・生徒指導の改善に取り組んでいます。

今後は、人間力を育むためのコミュニケーション能力を高める指導体制を構築し、深い学びを実現する授業改善に取り組めます。

星議員

教職員のウェルビーイングに対しての支援体制や取組は。

教育長

子どもたちのために時間を使いたいが、時間が制限されてしまうことから、バランスを考えた取組が必要であるため、教職員の専門性などを活かした協働体制のある職場づくりを進めるための研修を行っています。

用語解説

※ウェルビーイング
心身だけではなく社会的にもより良い状態を表す言葉です。

Well-being

良好な 状態

